

平成29年

新作名刀展

—— 現代の刀工と刀職 ——

9月9日(土)～9月24日(日)

■関連事業

①ビデオ放映…記録映画「かねづくりーよみがえる玉鋼」、「日本刀物語」、「刀職ー柄巻師と鑑師」

●会場 視聴覚ホール ※入室随時、観覧無料、要入館料 ●開催日時 9月9日(土)午前10時～正午、午後1時30分～3時30分

②実演

●開催日時および内容

- (1)9月10日(日) 刀剣研磨実演 白田修氏による実演
- (2)9月16日(土) 柄巻実演 飯山隆司氏による実演
- (3)9月17日(日) 組紐実演 有職組紐「道明」の皆さんによる実演
- (4)9月18日(月・祝) 白鞘実演 堀越隆夫氏による実演
- (5)9月23日(土・祝) 銘切り実演 下島宙氏、石田智久氏による実演

●会場 体験学習室 ●時間 午前10時～正午、午後1時30分～3時30分 ※見学無料、要入館料

川越市立博物館

■開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) ■休館日 9月11日(月)・19日(火)・22日(金)

■入館料 一般200円(160円) 大学生・高校生100円(80円) 中学生以下無料 ※()は20名以上の団体料金

■交通 東武東上線、地下鉄有楽町線・副都心線、JR川越線「川越駅」または西武新宿線「本川越駅」から

●東武バス「蔵のまち経由」乗車 札の辻バス停下車徒歩10分

●東武バス「小江戸名所めぐり」乗車 博物館前バス停下車すぐ

●イーグルバス「小江戸巡回バス」乗車 博物館・美術館前バス停下車すぐ

〒350-0053 埼玉県川越市郭町2-30-1 TEL. 049-222-5399 FAX. 049-222-5396 URL <http://museum.city.kawagoe.saitama.jp/>

共催 公益財団法人 日本美術刀剣保存協会

太刀・刀・薙刀・槍の部（高松宮記念賞）
太刀 銘善博 久保善博





「平成二十九年新作名刀展―現代の刀工と刀職」開催にあたり

公益財団法人 日本美術刀剣保存協会

新作名刀展は、本年で六十三回目を迎え、文字通り伝統と格式を備える充実した展覧会として、本協会の主たる事業となっております。一昨年からは高松宮記念賞も再開され、展覧会の重みは年々増しております。これもひとえに、本展覧会の格式と、その格式を信頼し日々の制作活動に勤しんできた各作家の努力の賜物と申せましょう。

その成果を発表するため、昨年までは刀剣博物館、山形県の致道博物館、埼玉県の川越市立博物館、岐阜県の関鍛冶伝承館での巡回展示を行って参りました。加えて本年は岡山県の備前長船刀剣博物館でも展示が行われ、本展覧会の重要性は日本各地に発信されていくこととなるでしょう。

本協会では、日本刀という世界に稀有な鉄の文化財を守り、その制作技術を保存・伝承するための重要事業として、我が国固有の製鉄法であり、世界唯一の技術である「たたら吹き」を行って玉鋼を生産しています。「新作名刀展」出品作品はこの玉鋼を原料として制作されたものであり、日本刀制作技術の下支えとして大きな意義をもつものといえましょう。

本協会は、この他刀職者がその成果を世に問う場として「刀剣研磨・外装技術発表会」を設け、さらには技術者育成のための各種研修会も行っています。副題である「現代の刀工と刀職」は、その職人方の想いに応えるべく付したものです。

最後になりますが、「新作名刀展」開催にあたりご協力くださいました関係各位に、衷心より厚く御礼申し上げます。

平成二十九年九月吉日

新作名刀展 ―川越会場展―

- 開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日 9月11日(月)・19日(火)・22日(金)
- 入館料 一般200円(160円)
大学生・高校生100円(80円)
中学生以下無料
※()は20人以上の団体料金

■交通案内

- 東武東上線・地下鉄有楽町線・地下鉄副都心線・JR川越線「川越駅」または西武新宿線「本川越駅」から
 - 東武バス「蔵のまち経由」乗車札の辻バス停 下車徒歩10分
 - 東武バス「小江戸名所めぐり」乗車 博物館前バス停 下車すぐ
 - イーグルバス「小江戸巡回バス」乗車 博物館・美術館前バス停 下車すぐ
- 川越市立博物館
〒350-0053 埼玉県川越市郭町2-30-1(初雁球場となり)
Tel.049-222-5399・Fax.049-222-5396
URL <http://museum.city.kawagoe.saitama.jp/>



刀身彫の部(優秀賞)大身槍 樋中 真の俱利伽羅 銘 備前長船住柳匠堂 片山重恒彫之